

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者のプライバシーが守られ、家族との語りも大切にした環境の提供」をホームの運営方針としている。管理者は家族的な雰囲気や、地域との交流を大切に考えている。又、職員からは安全と自由の兼ね合いの中で、その人らしさを大切にしている。	○	月一度の勉強会で職員が話し合うことで、理念が具体的なケア目標となるよう取り組みを行って行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	普段の生活の中や、会議・勉強会などの考え方や利用者の情報の共有を図り家族との接点作りをしたり地域の交流をは図ったり少人数での外出など、柔軟な支援に努め実践に向け取り組んでいる。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や地域の方がいつでも気軽に出入り出来る様名環境作りを行い、又毎月家族宛に提出する報告書に理念に沿った個々の取り組みを報告している。	○	家族の継続的な支援がホームの理念であり利用者の自己実現に資するものであることをこれからも呼びかけ働きかけて行きたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩や買い物などに出掛け近隣の人との挨拶や会話を交わしている。近隣の方々との触れ合う機会を大切にしている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りなどに参加している又、近所の子供達が遊びに来てくれる等自主的な交流も多く、その際には、相互に自由な交流が出来る様支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者のボランティアの受け入れを行い高齢者相互の触れ合いの場を設けている。</p>	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価を活かして話し合い改善に取り組んでいる。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族・自治会長・民生委員・老人相談員に参加して頂き、2時間程度をかけて報告や話し合いをしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も定期的な開催をして行くと共に参加者に意見助言をもらいながらホームの運営に役立てて行く事を期待したい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月に1度、市の担当者がホームに訪問・意見を伺いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要な利用者には、活用できるように支援しているが職員間で十分な理解できている。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止マニュアルがあり全職員が虐待のないケアを目指している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族に疑問等がないかを適宜伺いながら、分かりやすい説明を行い十分な納得を頂いた上で契約を行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段からリラックスの出来るコミュニケーションを図り利用者が本音を言える関係作りに努めている。上がって来た意見は職員間で話し合いの上運営に反映させている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会が少ない家族にも利用者の様子が分かるよう月一度活動状況報告書を送り金銭面については電話にてお伝えしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム及び市、国保連の苦情相談窓口を明記している。家族会がありましたホームの行事にも家族に参加の声かけをするなど家族との接点作りに努めている。家族から意見や不満があった時には職員間で話し合い解決改善を図っている。	○ 家族参加レクレーション後、家族・職員を交えて話し合いの場をもう設けている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、全職員で話し合いの場を設けており職員の意見を反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者のその時、その時の状況に合わせ見守り等必要なサービスが提供できるように話し合いを設け管理者、職員間で調整を行っている。	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員はユニットごとに固定されており基本的に異動はないが、異動がある場合は前もって知らせ異動後も頻繁に顔を出すなどして利用者へのダメージを最小限にする工夫をしている。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護実践研修には継続的に申込み、参加をしている外部の研修を受講した後は報告書を作成し職員間での知識の共有に努めている。月一回の開催する会議ではその時々課題等についてユニットごとに学習する。管理者は日々のケアの中で気になることはその都度職員に確認する。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のホームとは顔のつながる関係を作っているが、頻繁な交流はしていない。以前は他のグループホームに見学に行ったりした事もある。又、管理者は県外のグループホームの管理者と交流があり電話で相談事をする。他、以前は月一回程度行き来する関係を持っている県のグループホーム協会には加入していない。</p>		<p>今後、地域の同業者との交流を深めて行きたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士の話し合いを行う他、管理者が個別に職員と話し合う場を設けて個別に悩みを聞いている。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年二回、職員が自己評価を付け、向上心を持って働けるよう努力している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を受けた時(実調時)本人と話し合い、本人のニーズ把握に努め本人の希望に添う最適なアドバイスを行っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時、実調時、家族の話を良く聞き、現状を把握・確認し納得の行く様何回か面談を行う。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時、出来る事・出来ない事を話し合いサービスが適切であるかどうか検討して情報交換し、判断材料とする。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な限り体験して頂き、本人がホームに馴染めるよう家族と相談、連絡し合い希望に添ったケアが出来る様努めている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は食事時・お茶時を共にし喜怒哀楽を一緒に感じるよう信念を持って接している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族面会時、お茶を召し上がって頂き共に一緒に過ごす時間を作り、家族参加の行事を企画・参加を呼びかけている。</p>	
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>家族間との関係を維持し家族の支援を大切にしている。</p>	
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方が面会された時定期的に訪問して頂ける様声かけなど積極的に行っている。</p>	
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の関係をより良くスムーズに行く様努め、皆で出来る様な事を実施している。</p>	<p>○ 全利用者への平等な接し方を心がけ不満のない様心がけている。</p>
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居後も必要とあらば、利用者家族との連絡を取り合っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は一人一人の状況を出来る限り把握し努める。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	現在に至るまでの生活環境を把握し、なるべく変化のない様現状を維持出来る様心がけている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の日常生活を把握し、一日一日が快適に過ごせる様努めている。	○ ぼんやりしない様心がけ、声かけなど出来る限りの事をしてもらう様にしている。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人にとって最適な生活を送れる様本人家族等と、それぞれ意見を出し合い計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じ定期的な見直しをしている。尚、変化が招じた場合に応じて随時見直しをしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活を観察し、工夫しながら個々の記録を記入し介護にあつての見直しをしている。</p>	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の対応に添って出来る限りの支援を行い、交流センターでのボランティアの活動を積極的に実施している。</p>	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域ボランティアの交流、年一回消防署による火災訓練などを行っている。</p>	
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>意向や必要性に応じて、他のサービスなどが利用できるよう支援している。</p>	
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターの利用はまだない。</p>	<p>○ 必要に応じて利用したいと思っている。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に限らず家族より希望があった場合医療機関に受診出来る様かかりつけ医と連携を取っている。</p>	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要であれば家族やかかりつけ医に相談後、専門医に受診している。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員は現在いない。協力病院の医師に相談しながら日々の健康管理をしている。</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時、介護サマリーを渡し施設での様子を伝えている。頻回日本人・家族との話し合いの機会を持ち早期退院の支援をしている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族やかかりつけ医との相談しながら緊急時の搬送先を決定する他、延命治療・終末期の対応についてあらかじめ話し合い方針の共有をしている。</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>家族にはホームで出来る事・出来ない事の説明をあらかじめ行い、かかりつけ医と共に支援している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族のケア関係者間でお話し合い十分な説明の元で、転居先で困ることのない様になっている。転居の際には介護サマリー直近のケアプランを担当の相談員・介護支援専門員に渡し、適切なケアが転居先でも受けられる様支援している。</p>	
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーを損ねない様配慮し、言葉使いに注意している。記録はスタッフルームで一元的に管理し外部に流出しないよう配慮している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者一人一人にあった働きかけを行い、利用者一人一人が自ら決めて行動出来る様に支援している。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者を尊重し、その人に合ったペースを大切に本人の希望に叶う様に支援している。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の好おみに合わせたヘアスタイルなどを聞き身だしなみやおしゃれが出来る様な支援をしている。理容師の資格を持つ職員が希望を取り入れ散髪を行っている。</p>	<p>○</p> <p>日頃から身だしなみには気をつけ、外出時には化粧をするなどおしゃれには特に気をつけている。男性についても、さわやかな服装が出来る様気にかけている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	職員も利用者と同じテーブルで食事を取る事で、自然な形で本人の嗜好や摂取状況についての把握ができる様努めている。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○	利用者一人一人のペースに合わせてくつろいだ入浴が楽しめるよう支援している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		利用者の生活歴・本人にとって大切な経験や出来事を知りその人らしい暮らしや尊厳が支えられる為にそれを活かし支援している。


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	さらに積極的に本人の希望に添った外出が出来る様支援していきたい。
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	家族とのコミュニケーションの手段としてこれからもさらに活用していきたい。
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	○	馴染みのある方とのコミュニケーションの機会を大切にすることで利用者の孤立感がなくなるよう配慮し支援している。
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	拘束が利用者の身体的・精神的な障害の拡大要因となる事を正しく認識し拘束のない介護に取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>昼夜居室には鍵を掛けていない。一部の利用者の安全を考え、玄関の施錠は行っている。家族には十分な説明を了解の同意を得ている。</p>	
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は利用者のプライバシーに配慮しながらさりげなく、目配り気配りをし常に利用者の安全に配慮し支援している。</p>	
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>利用者の状態に応じ、自己管理が出来ている方にはハサミは持たせている。針・刃物等注意が必要な物品については、保管場所や保管方法など明確に取り決め実行している。</p>	<p>○</p> <p>使用後は目の届かない高い所に保管するなど、安全管理に努めている。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>事故が発生した場合、事故報告書をまとめており、職員の安全に関する知識の改善に努めている。</p>	<p>○</p> <p>事故発生時は、早急に臨時会議を開催し再発防止にさらに努めて行きたい。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>応急手当や心肺蘇生の研修を行っており緊急時には職員は応急手当を行うことができる。</p>	
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の対応マニュアルがあり、実行できるよう把握している。定期的に避難訓練を実施している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>職員は起こり得るリスクについて管理者やかかりつけ医とも相談の上、家族と話し合いを持っている。</p>	<p>○</p> <p>家族には面会時の説明、行事へのお誘いによる通常の生活の把握・定期的な連絡により、一人一人利用者のありのままの姿を理解してもらい、リスクのありようを正しく認識してもらっている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>職員間で情報を共有し連携、医療機関への連絡、主治医の指示を仰ぎ速やかに対応している。</p>	<p>○</p> <p>かかりつけ医との連絡は、電話・携帯電話等を使用し、24時間対応出来る体制を医療サイドと作り対応している。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員は利用者が服用している薬について理解しており薬に変更があった場合は、記録ならびに申し送りノートを活用して漏れなく伝達している。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日体操を行い、また足や腰を鍛える運動を行っている。毎朝牛乳や繊維質の多い食事を提供している。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の力を引き出しながら、口腔の清潔を日常的に支援している。毎食後歯磨きの声かけ、援助している。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>応急手当や心肺蘇生の研修を行っており緊急時には職員は応急手当を行うことができる。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し実行している。うがい・手洗い、食事前の手の消毒を必ず行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	配達され食材は、それぞれ冷蔵庫に分けて入れ保管している。布巾やまな板はその都度消毒している。冷蔵庫も定期的に清掃を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に季節の草花を置いたりし、家族的な雰囲気を作り出している。	○	玄関前の花は職員と利用者とは共に植え育てている事で、利用者おが季節感を肌で感じることが出来るよう配慮を行っている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間では、テレビの音の大きさに注意している。室内は、照明・カーテンで明るさを調節している。また、掲示板等は季節感を採り入れ居心地の良い空間を作っている。	○	折り紙や、貼り絵などで季節感を感じて頂ける様掲示物を作成できるよう職員と利用者がお互いに話し合い作成している。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下・玄関などに椅子やソファを置き気の合う利用者同士が語らえる様工夫をしている。冬は座敷にこたつも用意している。	○	利用者一人一人が自分らしく暮らしていけるように、適宜配置を換えるなどの工夫を行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各自それまでの生活で使い慣れ馴染んだものを持参されている。自身で創作したものを飾り生活が形としてわかるような支援をしている。</p>	<p>○</p> <p>利用者が作成した創作物や外出した写真を飾るなどして、生活の記憶が形として表されるようにしている。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気や窓の開閉には、訪室し観察を行い十分な気遣いを行っている。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており、また廊下・トイレには手すりを設置。浴室には手すり滑り止めマットを設置している。</p>	<p>○</p> <p>身体機能の低下防止の為、毎日ラジオ体操や屈伸運動・散歩等の歩行の確保を行っている。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレ・各居室には、見やすく分かりやすい位置に文字や目印をはいている。</p>	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関先に花を飾っており、時々テーブルを出しおやつを行っている。</p>	<p>○</p> <p>月に1度は、全員戸外にてラジオ体操やレクリエーションなど戸外で活動できる機会をよりいっそう増やして行きたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

最低月一回、外出の実施を心がけ、外食やおにぎり持参の外出を実施しています。  
 外出の2・3日前から楽しみにされる利用者が多い為、外出先を色々考え季節ごとのイベントとし桜見物・紅葉狩りと散策をかね歩行強化につながるよう努力しています。